令和６年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験問題
養護教諭　【　専　門　】

1　問題用紙は３枚あります。①から⑤まであります。
2　解答はすべて解答用紙に書きなさい。解答用紙は４枚あります。
3　解答用紙のみ提出しなさい。

1　次の（1）～（5）の問いに答えなさい。

（1）　次の文は、ある法令の条文である。法令名を書きなさい。

> 第十二条　学校においては、別に法律で定めるところにより、幼児、児童、生徒及び学生並びに職員の健康の保持増進を図るため、健康診断を行い、その他その保健に必要な措置を講じなければならない。

（2）　児童生徒等の健康診断について述べた次の a ～ d の中から、正しいものを１つ選び、その記号を書きなさい。

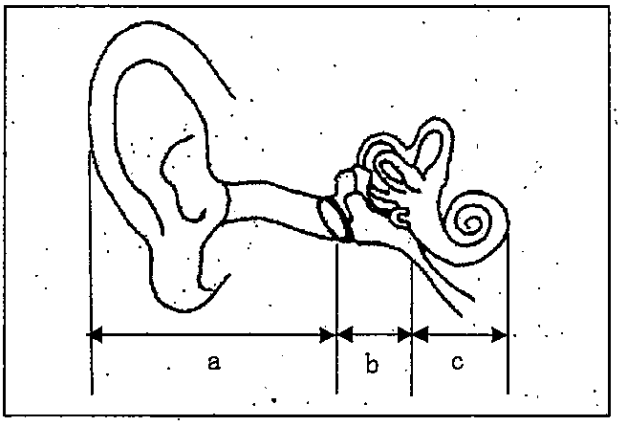
a　学校における健康診断は、学習指導要領解説特別活動編において学級活動として例示されている。
b　学校における健康診断の役割の一つに、学校における健康課題を明らかにして健康教育に役立てるということがある。
c　定期健康診断の事後措置は３０日以内に行わなければならない。
d　定期健康診断の結果、心身に疾病や異常が認められず、健康と認められる児童生徒に対しては、事後措置としての通知は不要である。

（3）　定期健康診断における選別聴力検査の方法について述べた次の文の［ア］～［エ］に当てはまる数字の組み合わせが正しいものを a ～ d の中から１つ選び、その記号を書きなさい。

> まず［ア］Hz［イ］dB の音を聞かせ、聞こえるかどうか応答させる。応答が不明瞭なときには断続音を用いて音を切ったり、出したりして応答を求める。明確な応答が得られたら［ウ］Hz［エ］dB の音を聞かせ応答を確かめる。

選択肢	ア	イ	ウ	エ
a	1000	30	4000	25
b	1000	25	3000	40
c	4000	25	1000	30
d	3000	40	1000	25

（4） 下の図は、耳の構造を示したものである。感音難聴である場合に障害が生じている範囲を、図中の ａ ～ ｃ の中から選び、その記号を書きなさい。



（5） 一側性感音難聴（一側ろう）の児童生徒に対する教室内の座席の配慮について、次の語句を用いて一文で述べなさい。

必ず使用する語句：教壇側

2 次の（1）、（2）の問いに答えなさい。

（1） 次の文は、「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取組を進めるための方策について」（答申）（平成２０年１月１７日中央教育審議会）の一部である。文中の［ア］～［エ］に当てはまることばを書きなさい。

> 健康観察は、［ア］、養護教諭などが子どもの体調不良や欠席・遅刻などの日常的な心身の健康状態を把握することにより、［イ］や心の健康課題などの心身の変化について［ウ］・早期対応を図るために行われるものである。また、子どもに自他の健康に興味・関心を持たせ、［エ］の育成を図ることなどを目的として行われるものである。

（2） 「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」（平成２１年３月文部科学省）について、次の①、②の問いに答えなさい。

① 「第４章　心の健康問題への対応」で示されている、養護教諭の役割のポイントについて、次の ａ ～ ｅ の文中の下線部が正しい場合は○を、誤りの場合は正しいことばを書きなさい。

ａ 子どもの心の健康問題の解決に向けて中核として保健主事を助け円滑な対応に努める。
ｂ 子どもが相談しやすい保健室の環境つくりに努める。
ｃ 校内関係者や関係機関等との連携調整等を行う。
ｄ 常に情報収集に心がけ、問題の全体像の把握に努める。
ｅ 子どもの個別の教育計画作成に参画する。

② 「第２章　健康観察の実際」「１　朝の健康観察」「（５）特別支援学校における健康観察」で示されている、特別支援学校の健康観察において注意すべき点を２つ書きなさい。

3　次の文は、「高等学校学習指導要領解説　保健体育編　体育編（平成３０年７月）」「第２章　保健体育科の目標及び内容」「第２節　各科目の目標及び内容」「保健」の一部である。次の（1）～（3）の問いに答えなさい。

> （略）　がんについては，肺がん，［ア］，①胃がんなど様々な種類があり，生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。がんの回復においては，手術療法，化学療法（抗がん剤など），［イ］などの治療法があること，患者や周囲の人々の［ウ］を保つことや［エ］が重要であることについて適宜触れるようにする。
>
> また，生活習慣病などの［オ］と回復には，個人の取組とともに，健康診断や［カ］の普及，正しい情報の発信など［キ］な対策が必要であることを理解できるようにする。

（1）　文中の［ア］～［キ］に当てはまることばを下の a ～ p の中から選び、その記号を書きなさい。

a 社会的	b 乳がん	c 放射線療法	d 日常生活
e 予防接種	f 免疫療法	g 大腸がん	h 生活の質
i 緩和ケア	j 経済的	k 肝臓がん	l 健康
m 普段の生活	n 予防	o がん検診	p 在宅医療

（2）　文中の下線部①の発病に関わっていると考えられる細菌名を書きなさい。

（3）　がんの治療法は、患者が医師から治療の目的や内容、方法などについて十分説明を受けて理解し、よく相談した上で選択、決定していくことが重要である。患者が、自分の病気・検査・治療などについて十分な説明を受け、理解した上でどのような医療を受けるか選択することを何というか、書きなさい。

4　次の（1）、（2）の問いに答えなさい。

（1）　次の文は、「生命（いのち）の安全教育　指導の手引き」（文部科学省）に示されている「生命（いのち）の安全教育」の目標である。文中の［ア］～［オ］に当てはまることばを書きなさい。

> 性暴力の加害者、被害者、［ア］にならないようにするために、生命の［イ］を学び、性暴力の根底にある誤った［ウ］や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切にする考えや、自分や［エ］、一人一人を尊重する態度等を、［オ］に応じて身に付ける。

（2） 「生徒指導提要」（令和４年１２月文部科学省）「第１２章　性に関する課題」について、次の①、②の問いに答えなさい。

① 次の文は、「12.4『性的マイノリティ』に関する課題と対応」で示されている内容の一部である。文中の［ア］～［カ］に当てはまることばを書きなさい。

「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」第２条においては、性同一性障害者とは、「［ア］には性別が明らかであるにもかかわらず、［イ］にはそれとは別の性別（以下「他の性別」という。）であるとの［ウ］な確信を持ち、かつ、自己を身体的及び社会的に他の性別に適合させようとする意思を有する者であって、そのことについてその診断を的確に行うために必要な知識及び経験を有する［エ］以上の医師の一般に認められている医学的知見に基づき行う診断が一致しているもの」とされます。

このような性同一性障害に係る児童生徒については、学校生活を送る上で特別の支援が必要な場合があることから、個別の事案に応じ、児童生徒の心情等に配慮した対応を行うことが求められています。［ア］な性と性別に関する自己意識（以下「［オ］」という。）と「［カ］」は異なるものであり、対応に当たって混同しないことが必要です。［カ］とは、恋愛対象が誰であるかを示す概念とされています。

② 「12.3.2　性的被害者への対応」で示されている、児童生徒から相談を受けた場合の対応のポイントを３つ書きなさい。

5 次の事例を読み、（1）～（3）の問いに答えなさい。

中学校２年生の生徒Ａは、サッカー部の活動中に生徒Ｂが蹴ったボールを顔面に受けて倒れ、地面に後頭部を打った。生徒Ａは苦悶の表情でその場にうずくまっていたが、１分以内に立ち上がり、生徒Ｂに付き添われて保健室に来室した。生徒Ａは目立った外傷はないものの後頭部と左眼の痛みを訴えており、生徒Ｂが受傷時の状況を説明した。当日の気温は１５度、生徒Ａに基礎疾患はなく、当日の体調は良好であった。

（1） 脳震盪が疑われる生徒Ａに対し、見当識障害がないか確認するための質問を、具体的に２つ書きなさい。

（2） 養護教諭が生徒Ａの眼を視診したところ、左右の目の視線に上下のずれが確認された。さらに問診によって、生徒Ａから複視の訴えがあった。この場合に考えられる眼の傷病を、下の ａ ～ ｅ の中から１つ選び、その記号を書きなさい。

ａ 外傷性虹彩炎　ｂ 外傷性黄斑円孔　ｃ 角膜損傷　ｄ 眼窩底骨折　ｅ 網膜震盪症

（3） 次の文は、頭部及び眼の外傷とその応急処置について述べたものである。 次の a ～ d の中から正しいものを２つ選び、その記号を書きなさい。

a 頭部外傷による急性硬膜下血腫は、頭蓋骨と硬膜の間にできた血腫が脳を圧迫し生死に関わるため、緊急の対応を要する。
b 脳震盪は意識消失を伴う場合と伴わない場合があるため、興奮状態や普段と違う行動パターンを示す場合も脳震盪を疑い、医療機関を受診する必要がある。
c 眼に消石灰が入ったときは、そのままガーゼ等で眼を覆い医療機関を受診する必要がある。
d 硝子体や網膜など眼球の後部の傷害では、痛みが弱かったり、時間が経ってから症状が現れたりすることがあるので、継続した観察が必要である。

6 次の（1）、（2）の問いに答えなさい。

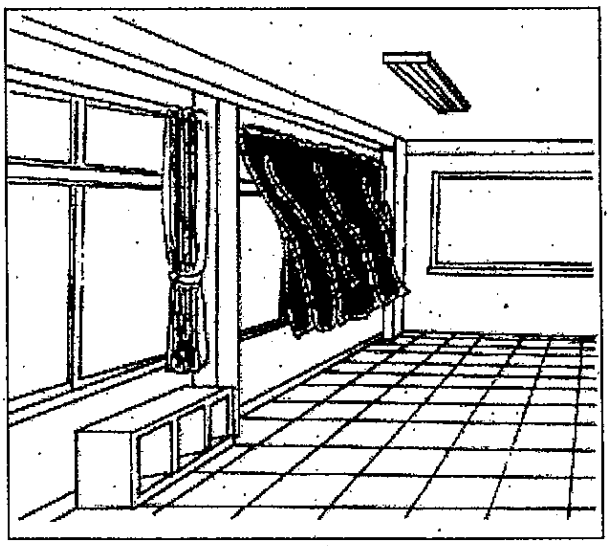
（1） 次の文は、学校保健安全法施行規則の条文の一部である。［ア］～［カ］に当てはまることばを下の a ～ n から選び、その記号を書きなさい。

第二十八条 法第二十七条の安全点検は、他の法令に基づくもののほか、［ア］一回以上、児童生徒等が通常使用する施設及び設備の［イ］の有無について［ウ］的に行わなければならない。
2 学校においては、必要があるときは、［エ］に、安全点検を行うものとする。

第二十九条 学校においては、前条の安全点検のほか、設備等について［オ］的な点検を行い、［カ］の安全の確保を図らなければならない。

a 日常	b 毎学期	c 定期	d 遊具	e 毎月	f 教室	g 系統
h 迅速	i 異常	j 臨時	k 毎日	l 故障	m 環境	n 総合

（2） 下の図は、校舎３階の一室です。小学１年生の集会活動に使用するため、事前の安全点検を実施しています。転落事故防止の観点から取るべき対策を３つ書きなさい。



令和６年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験
養護教諭 【専　門】　解答例・配点

120点満点

問題番号		正　答	配点	
1	(1)	学校教育法	3	16点
	(2)	b	3	
	(3)	a	3	
	(4)	c	3	
	(5)	（例）聞こえる側の耳が教壇側になる座席にする。	4	

問題番号				正　答	配点	
2	(1)	ア		学級担任	2	22点
		イ		感染症	2	
		ウ		早期発見	2	
		エ		自己管理能力	2	
	(2)	①	a	校長	2	
			b	○	2	
			c	○	2	
			d	背景要因	2	
			e	個別の教育支援計画	2	
		②		・保護者からの家庭での様子（睡眠・発作・排泄・食事・体調等）の報告を受ける。 ・学校医や主治医、看護師等の助言を受ける。 ・健康状態の変動が起こりやすいため、１日を通して、子どもの健康状態を観察し把握する。 ・障害等の特性等を踏まえた健康観察の項目を加える。 等から２つ。	2 2	

令和６年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験
養護教諭 【専　門】　解答例・配点

問題番号			正　答	配点	
3	(1)	ア	g	2	18点
		イ	c	2	
		ウ	h	2	
		エ	i	2	
		オ	n	2	
		カ	o	2	
		キ	a	2	
	(2)		ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）	2	
	(3)		インフォームド・コンセント（「説明と同意」）	2	

令和6年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験
養護教諭 【専　門】　解答例・配点

問題番号			正　答		配点	
4	(1)	ア	傍観者		2	28点
		イ	尊さ		2	
		ウ	認識		2	
		エ	相手		2	
		オ	発達段階		2	
	(2)	①	ア	生物学的	2	
			イ	心理的	2	
			ウ	持続的	2	
			エ	二人	2	
			オ	性自認	2	
			カ	性的指向	2	
		②	・児童生徒が安心して話せる場所に移動する。 ・最初の段階では「誰に何をされたか」を聴き取る。 ・「あなたは悪くない」ことを繰り返し伝え、「話してくれてありがとう」と伝える。 ・児童生徒が自発的に被害を話し始めたら、話を遮らず、丁寧に聴き取る。		2	
			・児童生徒が話す以上のことを聴き出そうとしない（詳細については無理に聴きすぎない。） ・児童生徒の使った表現や言葉をそのまま記録に残す。 ・家族や他の教職員、関係機関とどこまで情報を共有してよいか、本人から同意をとる。 ・聴き取りの際、「なぜ」「どうして」という圧力をかける言葉は避ける。		2	
			・被害開示を受けた教職員は感情的な対応にならないよう留意する。 ・繰り返し同じ話を聴くことを避けるため、聴き取りの際は、児童生徒が信頼できる複数の教職員（SC、SSW等を含む）が対応する。 ・障害のある児童生徒については、個々の障害の特性や状態等を踏まえて対応する。 等から3つ		2	

令和６年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験
養護教諭 【専　門】　解答用紙

問題番号		正　答	配点	
5	(1)	・場所に関する質問（例：ここはどこですか） ・時間に関する質問（例：今日は何月何日ですか） ・人に関する質問（例：一緒に来た友達は誰ですか） 等から２つ	3 3	15点
	(2)	d	3	
	(3)	b d 順不同	3 3	

問題番号			正　答	配点	
6	(1)	ア	b	2	21点
		イ	i	2	
		ウ	g	2	
		エ	j	2	
		オ	a	2	
		カ	m	2	
	(2)		〈事故情報の共有〉 ・全国の事故情報を把握し、転落事故の危険性を共有する。 〈学校の現状把握〉 ・専門家に点検を依頼する等、様々な視点で点検を行う。 〈安全指導の充実〉 ・転落事故の危険性について小学１年生でも理解できるように指導する。 ・危険な行動をとらないよう具体的にわかりやすく指導する。 （窓から身を乗り出せば転落する危険があることを指導する。等） 〈施設面の配慮〉 ・効果的な表示等により転落の危険について注意喚起する。 ・手すりの設置について検討する。 ・窓下に足掛かりとなるものを設置しない。（移動する。） ・暗幕（カーテン）は開けておく。 ・暗幕（カーテン）使用時は窓の開閉状況がわかるようにしておく。 ・暗幕（カーテン）使用時は窓を閉める。 等から３つ	3 3 3	